

角館・角館南高校整備計画

～ 市民会議の報告書を受け、県に統合に向けた要望書を提出 ～

7月27日、「仙北市明日の県立高校を考える市民会議」（藤川浄之委員長）から、門脇市長に報告書が提出されました。

市民会議は、4月25日から7月25日まで6回開催され、①望ましい教育内容 ②学校施設のあり方 ③教育環境の整備について、9月に県教育委員会が策定予定の「第6次秋田県高等学校総合整備計画」に地元の意見を反映させようと協議してきました。

市民会議としては、意見の一致に至らなかったため、報告書には次の4つの案が盛り込まれました。

①角館、角館南両高校並立存続

→選択肢を広く確保するため進学主体の角館高校と、地域社会に貢献する人材育成を目指した男女共学の角館南高校を存続

②角館、角館南両高校統合実現

→少子化による生徒数減による小規模化を避け、統合を一刻も早く実現

③角館、角館南両高校統合と定時制独立校新設

→統合が避けられない場合、定時制高校を独立校として新設し、名称も変更

④統合高校と定時制独立校舎に養護学校機能併設

→統合した上で定時制校舎に大曲養護学校の分校舎あるいは分教室を併設

市では、市民会議からの報告書や昨年2月に提出された「市議会県立高校統合問題調査特別委員会委員長報告」などを基に要望事項をまとめ、8月6日、門脇市長が県知事、県教育委員会を訪れ「角館地区県立高等学校について」の要望書を提出しました。

要望書の概要は次のとおりです。

学校施設のあり方について

角館高校、角館南高校を統合する角館地区統合高校は、定時制独立校舎を有する1校2校舎の形態を有する設置

①全日制課程における学校整備について

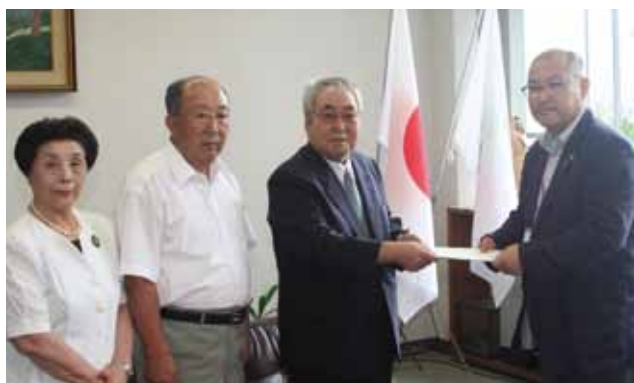
1学年普通科7学級とし、進学、ビジネス、ものづくり、語学、観光、芸能・芸術など多様なコース設定のうえ、より高度な専門性を履修できる専攻科の設置

②定時制課程における整備について

フリースクールの空間を備えた2部制（午後部、夜間部）、単位制で語学を履修するコースや社会人履修コースの設定がある独立校舎の設置。

特別支援教育の県立大曲養護学校の小学部・中学部の分教室併設

また、角館高校、角館南高校とも校舎の老朽化が進んでいることから既存校舎の安全性確保についても、再編整備のスケジュールとは切り離し、早急に改善対策を講ずるよう要望しています。



藤川委員長から報告書が市長へと手渡された